

緩和医療薬薬連携情報提供書 よくある質問（Q&A）

Q1. 緩和医療薬薬連携情報提供書とは何ですか？

外来で医療用麻薬を使用している患者に関して、病院と保険薬局で相互に情報提供を行うものです。2017年2月1日から運用を開始しています。

Q2. どういう患者が対象になりますか？

外来で医療用麻薬を使用している患者が対象になります。

Q3. 病院薬剤師は、どのタイミングで外来患者に介入していますか？

医療用麻薬開始時、変更時、外来看護師が必要と判断した場合に、原則、緩和ケアチーム薬剤師が服薬説明をしています。また、緩和ケアチーム薬剤師がフォローが必要と判断した場合には継続的に副作用の確認などを行っています。

Q4. トレーシングレポートはいつFAXすればいいですか？

いつでもFAXしてください。特に、同じ薬剤を継続している患者へは病院薬剤師は長期間介入できていませんので、保険薬局薬剤師の先生からのFAXをお待ちしています。

Q5. トレーシングレポートには何を書けばいいですか？

患者の自宅での疼痛コントロール・服薬管理の状況、相互に情報共有した方がいい内容等、何でも構いません。2018年8月1日から運用開始する改定版より、保険薬局の先生方がよく情報提供して下さる内容、病院側が欲しい内容について予めチェック形式に変更しています。

Q6. トレーシングレポートの内容に関する返答はもらえますか？

情報の内容によりませんが、トレーシングレポートの内容から治療に反映された場合は、緩和医療薬薬連携情報提供書などを通して返答（情報提供）します。

Q7. トレーシングレポートで疑義照会することはできますか？

できません。トレーシングレポートは、即時性の低い情報を提供する場合に限りです。疑義照会は、これまで通り各科外来へ電話連絡をお願いします。

Q8. トレーシングレポートの予備はもらえますか？

済生会横浜市南部病院のホームページ上（病院・保険薬局連携ページ）から、PDF版、WORD版が入手可能です。

Q9. NRSとは何ですか？

Numerical Rating Scaleの略で痛みなどの症状の強さを評価する尺度のことです。症状が全くない「0」～考えられる中で最悪の症状「10」の11段階で評価し、病院からの情報提供書には必ず記載があります。

お問い合わせ先

済生会横浜市南部病院薬剤部 緩和ケアチーム薬剤師

TEL：045-832-1111（代表）